

令和8年度 第1回焼津市総合計画推進委員会 会議録

1 開催日時 令和8年7月10日(金) 午前9時25分～11時35分

2 開催場所 焼津市役所本館 7階会議室7A

3 傍聴者 なし

4 出席者 焼津市総合計画推進委員5名

日詰 一幸 (静岡大学学長)
新井 恵子 (静岡福祉大学健康福祉学科学科長・教授)
大石 一宏 (大井川商工会事務局長)
志賀 美之 (公募市民)
村松 文次 (焼津商工会議所専務理事)

(事務局)

山下 敦史 (企画部長)
藤本 多加志 (政策企画課長)
飯塚 宏慈 (政策企画課)
鈴木 星矢 (政策企画課)
増田 湧 (政策企画課)

(施策主管課)

寺尾 貴裕 (健康づくり課長)
飯塚 隆晴 (高齢者福祉課長)
平岡 雅子 (健康福祉部次長 兼 福祉政策課長)
緒方 千晴 (子育て支援課)
増田 善成 (生きがい・交流政策課長)
日下部 充 (文化振興課長)
小泉 富広 (スポーツ課長)
渡邊 正博 (水産振興課長)
池谷 嘉一 (農政課長)
八木 澄人 (商工観光課長)
小泉 早由利 (防災政策課長代理 防災政策担当統括主幹)
南 昌広 (道路課長)
山田 暁子 (都市計画課長)
岡本 佳和 (都市整備課長)
藤岡 謙二 (環境課長)
齊藤 匡宏 (協働推進課長)
河守 邦人 (デジタル行政課長)
山下 浩一 (財政課長)

5 次 第

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1 開 会 | 2 委嘱状の交付 |
| 3 市長あいさつ | 4 委員の紹介 |
| 5 委員長の選任 | 6 委員長あいさつ |
| 7 議 題 | |
| 第6次総合計画（第2期基本計画）の振り返り | |
| 8 閉 会 | |

6 内 容

(1) 開会

（事務局より出欠の確認及び司会進行の紹介）

(2) 委嘱状交付式 (3) 市長あいさつ

（市長より委員へ委嘱状交付）

(4) 委員の紹介 (5) 委員長の選任

・会長の選任（委員の互選） 委員長：日詰 一幸委員

(6) 委員長あいさつ

(7) 議題

（事務局の紹介、配布資料説明）

・第6次総合計画（第2期基本計画）の振り返り

政策1 健康・医療・福祉

施策1-1 健康で豊かな暮らしの実現

施策1-2 安心で良質な医療の提供

施策1-3 すこやか長寿社会の推進

施策1-4 共に生きる社会の推進

【施策の振り返りと課題】

・施策主管課より説明。

【委員質問・意見】

《施策1-1 健康で豊かな暮らしの実現》

大石委員：

健康見える化コーナー利用者は何名から何名へ、特定検診受診率は何%から何%へ増えたのか。

健康づくり課長（施策主管課長）：

健康見える化コーナー利用者については、令和6年度が1,652名、令和7年度が1,997名で約1.2倍に増加。特定検診受診者については、令和6年度が36.1%、令和7年度が37.3%で1.2ポイント増加した。

新井委員：

健康管理アプリについて、令和7年度末時点の利用者が3,779名とのことだが、当初は何名を目標としていたのか。また、利用者の年代分布はどのようになっているか。

健康づくり課長（施策主管課長）：

特に目標は設定していないが、引き続き利用者の増加に取り組んでいく。利用者の年代については60代が多い。健康な年代は健康管理に興味湧かないことが要因であると推察するが、カロリー計算機能なども備わっているため、生活習慣病の予防を始めるきっかけになればと考えている。

《施策1-2 安心で良質な医療の提供》

日詰委員長：

焼津市立総合病院の病床数と稼働率は。

健康づくり課長（施策主管課長）：

病床数は423床となっている。

財政課長：

稼働率は7割台で推移しているが、最近の受療動向の影響もあり若干下がりつつある。

日詰委員長：

藤枝市立総合病院や榛原総合病院と、それぞれの病院の得意分野を活かした機能分担や連携体制はできているのか。

健康づくり課長（施策主管課長）：

それぞれの病院が総合病院としての役割を担っている。例えば、焼津市立は脳神経外科に特化しているので焼津市立へ、といった案内をするところまでの機能分担はできていない。ただ、医師の手が足りていない診療科の患者が来院された際、藤枝市立等の協力を得て転送するといった連携体制は構築できている。

日詰委員長：

かかりつけ医と市立病院の連携はスムーズに進んでいるのか。

健康づくり課長（施策主管課長）：

手術等、入院が必要であればかかりつけ医から市立病院に紹介していただき、術後、患者さんの病状が落ち着いた段階で退院となり、かかりつけ医へ逆紹介する、といった関係性を築くため、顔の見える関係づくりを推進している。

日詰委員長：

全国的に公立病院の経営はとても厳しい現状にあると思うが、焼津市立総合病院はどうか。

財政課長：

全国的に公立病院の経営は、物価高騰などの影響もあり、厳しい状況が続いている。当院においても、収入増の方策検討や経費の見直しなどの経営改善を進めているところである。

《施策 1-3 すこやか長寿社会の推進》

志賀委員：

生活支援サービスの対応件数や支援内容について知りたい。また、東益津地区の次に立ち上がりそうな地区はあるか。

高齢者福祉課長（施策所管課長）：

昨年度の対応件数は 84 件で、ゴミ出しや草取りが多い。6 月には大富地区でも立ち上がり、今月から本格的に活動を開始する。まだ具体的にはなっていないが、他の地区でも生活支援コーディネーターによる勉強会を開催し取り組もうという形にはなっている。

村松委員：

生活支援サービスは総合計画の成果指標にどのように影響してくるのか。

高齢者福祉課長（施策所管課長）：

指標の通いの場合は、フレイル予防や住民の交流等につながるものであり、生活支援サービスは、総合計画の成果指標への直接のつながりはないが、生活支援サービスが始まったきっかけは、総合計画の成果指標である市内の通いの場についての検討等を行う「地域ささえあい協議会」での協議である。

日詰委員長：

住民主体による生活支援サービス団体というのは、町内会・自治会レベルなのか、あるいは NPO 法人を使っているのか。

高齢者福祉課長（施策所管課長）：

NPO 法人でなく住民団体が、介護保険の訪問型サービス B という位置づけで実施している。東益津地区は 3 自治会中 1 自治会の 2 地区で実施。大富地区については 3 自治会が連携し、民生委員の方が代表となり実施している。

政策 2 子育て・教育

施策 2-1 みんなで支える子育て環境の充実

施策 2-2 学校教育の充実

【施策の振り返りと課題】

- ・ 施策主管課より説明。（施策 2-2 については施策主管課欠席のため事務局より説明。）

【委員質問・意見】

《施策 2-1 みんなで支える子育て環境の充実》

日詰委員長：

様々な子育て支援施策が焼津市で展開されているが、結婚して焼津市を選ぶ夫婦やそこから生まれてくる子どもの数が分かるようなデータや手ごたえはあるか。

子育て支援課長（施策主管課長）

子どもの数は減少しており、18 歳以下の人口は令和 8 年 5 月末時点で約 1.9 万名。

子育て支援センターに来る母親から焼津市の支援は手厚いという声は聴いているが、まだ

まだ足りないところがあると実感している。

事務局：

各種施策が毎年効果を発揮しているかというところがあるが、人口動態の調査で30代夫婦と子どもといった子育て世帯の転入は確認できているため、継続していくことが大事だと考える。

出生率は令和6年が1.17、令和7年が1.15で少し下がっているが、全国平均の1.14は上回った。

日詰委員長：

近隣の様子はどうか。

事務局：

令和7年は県の平均が1.21のため、県平均は下回っている。

人口1,000人当りの1年間で何人の子どもが生まれたかという指標では、最新が令和5年になるが、焼津市5.6、静岡市5.3、藤枝市5.3、島田市5.5と、近隣市町を上回っている。

《施策2-2 学校教育の充実》

大石委員：

成果指標の実績値はどこから持ってきているのか。

事務局：

生徒に対するアンケートの集計結果を実績としている。

政策3 生きがい・文化・スポーツ

施策3-1 生きがいづくりの推進

施策3-2 芸術文化の振興と歴史・伝統文化の継承

施策3-3 スポーツの推進

【施策の振り返りと課題】

- ・施策主管課より説明。

【委員質問・意見】

《施策3-1 生きがいづくりの推進》

新井委員：

課題に「電子書籍サービスの充実を図る必要がある」とあるが、現在どのくらいの方が電子書籍サービスを利用しているのか。

生きがい・交流政策課長（施策主管課長）：

確認し、追って回答する。

（後日回答内容）

現在焼津市では電子書籍サービスが導入されておらず、図書館システムの更新に合わせて検討することになっている。行政サービスだけでなく、時代の流れとしてDXが推進され

る中で、電子書籍化についても求める声が多くなっており、課題として認識している。
なお、過去の広報や統計情報等貴重な地域資料についてはデジタルアーカイブとして閲覧できるものもある。

また、著作権の消滅した作品や、「自由に読んでもらってかまわない」とされた作品は電子化した上で青空文庫として公開されており、市ホームページに閲覧できるリンクを貼って対応している。

《施策 3-2 芸術文化の振興と歴史・伝統文化の継承》

新井委員：

NHK連続テレビ小説「ばけばけ」の一過性にとどまらず、今後も多くの方に焼津へ足を運んでいただけるよう企画やイベントを行っていただけたらと思う。

文化振興課長（施策主管課長）：

令和8年度も引き続き松江市と連携し事業を進めていく予定であり、交流人口の増加につながればと考えている。

《施策 3-3 スポーツの推進》

日詰委員長：

週1回以上スポーツを実施する人の割合の実績値が目標値を下回っているが、成人病の予防にもつながる大事な指標であると考え。健康福祉部門との政策面での連携には取り組んでいるか。

スポーツ課長（施策主管課長）：

生きがいつくりという点では、50歳以上の新元気世代を対象としたスポーツ教室を協会に委託し連携は行っている。

日詰委員長：

できれば健康面の維持という点で、健康福祉部門との関係まで広げていただければと思う。

政策4 産業・観光

施策4-1 水産業の振興

施策4-2 農業の振興

施策4-3 商工業の振興

施策4-4 観光交流の推進

施策4-5 雇用・就労環境の充実

【施策の振り返りと課題】

・施策主管課より説明。

【委員質問・意見】

《施策4-1 水産業の振興》

村松委員：

課題にある水場作業員等の人材確保や業務の効率化は我々にとっても課題である。基幹産業の発展が最も焼津市の発展につながると思うので、ぜひ協力をお願いしたい。

水産振興課長（施策主管課長）：

大きな課題としてとらえており、水産関係団体らが集まる焼津市水産振興会とプロジェクトチームを作って人材確保や機械化等について色々な角度で検討を行っている。

《施策 4-2 農業の振興》

村松委員：

農業生産額はまだ集計中とのことだが、今後の農地の利用など、焼津市の農業が目指すところを教えていただきたい。

農政課長（施策主管課長）：

農業生産額は国の農業センサスが当初の予定から1か月程度遅れて7月下旬に公表予定。焼津市は水田の面積が大きく水稻の生産量が多いが、その他の作物も作ってもらえるよう頑張ってもらっている。しかし農地の現状として、非常に面積が小さかったり、点在していたりするものが多く、集積したくともそうしがたいといった現状があることから、小さい面積でも作物ができるような仕組みについて考えている。

村松委員：

トマトや梨といった市の特産品の品種改良や作付面積の増加は考えているか。

農政課長（施策主管課長）：

水稻であれば集積できるが畑は難しい。JAと協力して高収益な作物ができるような仕組みを考えていく。

《施策 4-4 観光交流の推進》

日詰委員長：

令和7年度のインバウンド観光客・宿泊客はどの程度いるのか。

商工観光課長（施策主管課長）：

観光交流客数は集計していないが、宿泊客数は35.8万人のうち7,227人がインバウンドである。

日詰委員長：

観光交流客数343.8万人のうち宿泊客数は10%程度であるが、焼津は通過点になってしまっているということか。宿泊客数を増やすような仕組みについて考えがあれば教えていただきたい。

商工観光課長（施策主管課長）：

宿泊客数が伸び悩んでいる原因の一つとして、コロナ禍以降、さかなセンターが大きな誘因材料であった団体旅行が減り、個人・家族旅行が増えた旅行トレンドの変化が挙げられる。市としては夜のイベントを増やすなど、宿泊につながるような施策を検討していく必要があると考えている。

政策5 防災・都市・環境

施策5-1 安心・安全な暮らしの推進

施策5-2 暮らしを守り支える社会基盤の充実

施策5-3 良好な住環境の実現

施策5-4 環境にやさしい持続可能な社会の推進

【施策の振り返りと課題】

施策主管課より説明。

【委員質問・意見】

《施策5-2 暮らしを守り支える社会基盤の充実》

志賀委員：

市民意識調査の調査結果報告に道路の白線が薄いという意見がとて多く見られたが、白線を引き直す基準や、消えない引き方があれば教えてほしい。

道路課長（施策主管課長）：

道路の白線については、市が管理する外側線やセンターライン、公安委員会が管理する停止線や横断歩道などがある。市としてもできるだけ市民が安全に通行できるよう計画的に引き直しを進めているところであるが、明確な基準は無く、危険なところから順次対応しているのが実情。引き続き市民から連絡があれば速やかに対応できる体制を整えていく。

日詰委員長：

引き直しには国や県の補助金が出るのか。

道路課長（施策主管課長）：

補助金は無く、市の単独事業として行っている。

《施策5-3 良好な住環境の実現》

新井委員：

振り返りに「内港エリアや焼津駅前エリア等においては、にぎわい創出に向けた検討を行った」とあるが、検討を行ったことの公表はしているか。

都市整備課長（施策主管課長）：

焼津駅周辺については令和5年度から検討を開始し、令和5・6年度の内容に関しては構想や計画について市ホームページにて公表している。令和7年度の内容に関しては繰り越しを行った関係でまだ公表していないが、現在公表に向け取りまとめを行っている。検討にあたっては市民や駅利用者の意見が非常に重要であるため、令和5年度は静岡福祉大学や焼津高校の学生にアンケートを行い、令和7年度にはLINEアンケートで広く市民の意見も集めた。これらの意見を踏まえながらにぎわい創出を進めていきたい。

政策 6 市民協働・DX・行政運営

施策 6-1 互いに認め合う共創社会の推進

施策 6-2 DXの推進と情報発信の充実

施策 6-3 健全で効果的な行政運営

【施策の振り返りと課題】

施策主管課より説明。

【委員質問・意見】

《施策 6-3 健全で効果的な行政運営》

日詰委員長：

ふるさと納税の近況と、寄附金は基金化されているのかをお聞きしたい。

財政課長（施策主管課長）：

令和 7 年度の速報値になるが、114 億円超のご寄附をいただいております、3 年連続で 100 億円を超えている状況。いただいた寄附金をすべて使えるわけではなく、返礼品や配送料等の経費が掛かるため、市で活用できるのは半分程度である。

全国的な傾向として、昨年はお米が人気であったが、最近ではトイレットペーパー等の日常生活用品が選ばれる傾向にある。

基金化については、本市では事業スキームとして寄附金を一旦基金に積み、それを原資に次年度予算編成の中で主に 4 つの分野、子育て教育・観光交流・健康・防災の投資的な経費に充当している。参考までに、令和 8 年度予算については約 62 億円程度を基金から取り崩し、事業に活用している状況である。

(10) その他

事務局：

本日いただいたご意見等については、LINE アンケートでいただいている意見も含めて、令和 9 年度の施策方針書の参考にさせていただく。

(11) 閉会